

新理事としての就任の抱負

わの活動発展に 全身全霊を傾ける

理事長 郷 肥三 (福-9期)



5月15日の総会で承認して頂いて平成19年度の理事長を務めさせていただきます。

昨年「誠実、信頼、思いやり」の精神で皆様のご協力のもとに精一杯努力してまいります。

皆様方のご尽力によりこうべ環境未来館の再契約、パソコン講習会の開催等がスタートしました。6月になりまして(財)長寿社会開発センターの助成金も決定しました。その他数々のイベントなども期待されます。

この7月には設立10周年を迎え、9月1日、2日には記念式典をはじめ地域交流等を開催します。震災復興の中で生まれたボランティア活動が地域活動に広がって10年間継続されてきたことは素晴らしいことです。物質的豊かさを求めすぎて、自己中心的な競争社会になってしまった今の日本は何かおかしい！昔ながらの心温まる社会を取り戻すことが必要ではないでしょうか。そのためにも今後の10年間も、わの活動を継続・発展させ、若い世代に思いやりの心を伝えなければなりません。この1年そのための基礎固めに努力したいと考え、理事長として全身全霊を傾ける決意です。このわの活動が市民の皆様から感謝され、また会員一人一人にとって、人生の活力となりまことを切に願っています。

現場支援に全力投球

副理事長 加藤 勇治 (美-10期)



グループわは今や1000名を超える会員を擁し、市内有数のボランティア団体として注目される存在となりました。少子高

齢化が進む社会にあって、経験ゆたかなシルバー人材を擁するわの活動は今後ますます重要性を増すに違いありません。

わには有能な方が数多くボランティア活動志願者として登録されています。一人でも多くの方がボランティア活動に加わり社会貢献が実感いただけるよう“縁の下の支え”として現場支援に全力投球したいと思います。

微力だが支柱の1本に

副理事長 上田 市夫 (生-10期)



わに入学？して2年目を迎えました。達人揃いの先輩諸侯が築き上げたわの奥の深さ、幅の広さを勉強しました。

一部分を覗いたに過ぎない1年でしたが、わの10歳の誕生年に関われたことは奇縁です。微力ながら数ある支柱の1本になりたいと思います。「他のために」の実践を目指すシニアパワーは、行政からも注目されており、私たちの出番は今後増えるものと思われま。総力戦で期待に応えましよう。

女性の活動の結集を

理事 東本 敦子 (福-9期)



事務局のお世話をするようになってもう三年目に入りました。一年目は、右も左もわからないまま夢中で過ぎ去ってしま

いましたが昨年はようやくわの活動が少しは判ってきて、どうすれば良いか考えられるようになった気がします。

今年はあたらしく、2人の女性が理事として本部に加わりました。女性だからこそ理解できること、女性しか気付かない細やかな気配り、目配りを効かし、女性全員の力を結集し、活動に生かせるよう頑張ります。『わ』の事務局に女性会員が頻繁に、

また気楽に顔を出せる、親しみやすい雰囲気作りに努めたいと考えています。どうか、より一層支援くださいますようお願いいたします。

真の幸せのサポーター

理事 増金 スミ子 (福-11期)



少しのお手伝いで、幸せを分かち合える事が出来る社会”にならないものだろうか？

行政だけに頼らないで自分達の手で小さなことで良いから何か出来ないものだろうか？。そんなことを考えていた私に、グループわと言うボランティアグループが大きな活動の場を与えてくれました。

その活動は毎日が新鮮であり、日々これ新体験です。戸惑うこともしばしばですが、色んな可能性がある活動に魅力を感じながら、真の幸せのサポーターとして、グループわの繁栄に少しのお手伝いでも出来れば……と先輩たちのご支援を頂きながら、毎日を楽しんで勉強させていただいています。

感動と感激と感謝の気持ちで『ありがとう』の言葉と一緒に！。

グループわの潤滑油

理事 藤田 勝 (福-11期)



卒業後は、カレッジの建学精神を実践し、お世話になった世の中に少しでも恩返しをしたいと考えていたので、誘われるままに深く考えないで

わの仕事に携わる事になりました。今、先輩方の仕事の一端に触れる中で、グループの推進役としての計画性と実践力を高める努力と、法人の理事としての仕事と責任のあり方を意識しています。あたかも10年の節目の年を迎える今年、その一員に加えていただく機会に恵まれたことを感謝します。最後にグループわの潤滑油となるよう努力を惜しまない所存です。